

令和6年度病害虫発生予察指導情報  
対象病害虫：ハイマダラノメイガ（アブラナ科野菜、ストック）

令和6年8月27日  
鳥取県病害虫防除所

1 対象病害虫

ハイマダラノメイガ

(1) 発生状況

8月22日の病害虫巡回調査の結果、県中西部の現地ブロッコリーほ場でハイマダラノメイガの発生ほ場率が43%（平年値：0%）と発生量はやや多かった。また、県中部キャベツほ場でも発生が確認されている。

(2) 向こう1ヶ月の気象予報から、今後、食害被害が増加することが懸念される。

2 防除上注意すべき事項

ア 幼虫は新芽等の生長点付近に食入し、葉を綴り合せて食害するため、初期被害を見逃すことが多い。

イ 生育初期に新芽に寄生されるとその後の生長が止まり、被害が大きくなる。特に、キャベツでは食害を受けた株は結球しなくなるため減収につながる。

ウ 育苗期や定植時に薬剤処理をした場合でも、その後の気象条件により、十分な効果が得られない場合があるため、ほ場での発生状況に注意する。

エ ほ場内をよく観察し、被害が見られた場合には病害虫防除指針等を参照し直ちに防除を行う。



図1 ハイマダラノメイガ幼虫



図2 ブロッコリーにおける  
芯部の被害